



これまでのエチオピアとの交流やこれからの構想を発表する、山口市長



左から、後藤さん、高野くん、助川くん

ホストタウンとは

2020年東京オリンピック・パラリンピックは、会場となる東京だけではなく、オールジャパンの大会にするため、全国の皆さんがオリンピック・パラリンピックに関わっていると感じられるよう進められている取り組みです。そして、2020年で終わりではなく、草の根の交流を更に続けていくことをねらいとしています。

また、音楽交流会では岩間地方囃子保存会 八幡會の皆さんが日本でも目にかかる機会が減ってきた日本の伝統文化「お囃子」を、アフリカの太鼓「ジャンベ」と協演し、アフリカ諸国の皆さんや観光客に披露しました。

いよいよ、開幕まで1年を切った2020年東京オリンピック・パラリンピック。市では、ホストタウンとなっているエチオピアのほか、タイ王国、台湾とさまざまな交流を進めていきます。



1

エチオピアのホストタウンとしてさまざまな交流を進めています

8月に横浜で開催されたアフリカ開発会議「TICAD7」のサイドイベントとして、東京五輪でアフリカ諸国のホストタウンになっている全国の自治体が集まり、首長談会、子ども交流会、音楽交流会が2日間にわたり行われました。

首長談会では、6市町村がそれぞれの交流を発表し、笠間市はエチオピアのホストタウンとして、交流のきっかけとなったエチオピア人陶芸家のガライヤさんのことやエチオピア人中学生が笠間市を訪れ中学校駅伝大会に参加したことなど、今まで行ってきた交流の取り組みを紹介しました。

2日目の子ども交流会では、市内の中学校に通う3人の生徒が出席し、12月にエチオピアに派遣され、エチオピア流の練習を体験してやることを発表しました。

練習体験に派遣されるのは、友部中学校の高野翔主希君（1500m）、後藤凜那さん（800m）、友部二中の助川颯都君の3人。3人とも関東大会レベルの記録を持つ選手たちで、同時に指導者も2人派遣し、指導方法を学び本市の陸上競技のレベルアップを狙います。



お囃子とアフリカ太鼓「ジャンベ」が協演



愉快的中にも迫力ある踊り



オクラを収穫した千葉県の小学生



民族衣装でダンスを披露するインドネシアの生徒たち



笠間市から出席したみなさん。左から村上さん、小松崎さん、新田さん、高瀬さん

2

医療と消防の連携協力を図る

9/14

第43回茨城県救急医学会がつくば国際会議場で開催され、医療従事者や消防隊員などがそれぞれの立場から医療や救急を調査研究した成果を発表し合いました。学会では、各発表のほか特別企画として、短時間でもポイントがグッと絞り込んだ「ランチョンセミナー」の開催や「2020東京五輪開催時の救急・災害医療の課題と対策」の特別講演も行われるなど、医療と救急の連携が図られました。

笠間市からは、岩間消防署と友部消防署から4名の隊員が参加し、研究成果を発表しました。

3

笑顔あふれる交流

9/19

日本への留学を志し、日本語や日本文化を学ぶ、インドネシアの中学生がみなみ学園義務教育学校に訪れました。

インドネシアの生徒たちが民族衣装を着てダンスを披露したり、一緒に双六を楽しんだり、みなみ学園の生徒たちがソーラン節を教えてあげたり。

初めは緊張の様子もみえましたが、お互いに英語でコミュニケーションを取り始めるとどんどん笑顔が増えています。みんなで息ぴったりソーラン節を踊っていました。

4

電車でもういっぺん

9/20

都会の子どもたちが笠間で田舎暮らしを体験するふれあい体験旅行が行われ、千葉県の小学生66名が参加しました。

農家での収穫体験や陶芸体験、草取りでさえ初体験の子どもたちは、笑顔いっぱい笠間を楽しみました。今回、初めて小学生の受け入れを行った、笠間の魅力発信隊代表兼地域おこし協力隊の大坪さんは「準備はいろいろと苦勞しますが、子どもたちの笑顔で大変さも飛んでいきます」と話していました。

5

消防団の活動を支える資材を整備

9/28

消防本部では、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業を活用し、ワンタッチテント3つとLEDライト100個を宝くじの助成金で整備しました。

テントは消防団の車に積み、現場での臨時拠点として、LEDは各分団に配布し、夜間活動等で活用していきます。

6

『かさまの「栗」アイディアレシピコンテスト2019』

10/5

かさま新栗まつりの目玉企画、小学生がレシピを考え職人が商品化する『かさまの「栗」アイディアレシピコンテスト』が開催されました。

今年は、応募総数603作品の中から、15作品が選ばれました。選ばれた作品は、実際に栗商品として会場で販売され、来場者が新たな味を楽しみました。

7

笠間市消防団がポンプ操法大会で健闘

10/6

第70回茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会に、笠間市消防団第29分団と第8分団が出場しました。

第29分団は3位に、第8分団は敢闘賞にそれぞれ輝いたほか、柴台昭洋さん（第29分団3番員）と久野大輔さん（第8分団1番員）が優秀選手賞を受賞しました。



第29分団の皆さん



第8分団の皆さん



レシピが選ばれた皆さん



購入したテントとLEDライト